

ガバメントクラウドファンディングに挑戦中

キーワード

漢方薬・薬草・臨床研究・認知症改善

八味地黄丸の臨床研究を前に進め、科学的根拠(エビデンス)に基づいた新たな治療選択肢を世界に発信する

目標金額

40,000,000円

受付期間

2026年 8月4日まで

ご寄付の使い道



2030年には認知症および軽度認知障害(MCI)の患者が1,100万人を超えると予測されており、喫緊の国民的課題となっています。そのような課題に対し、漢方薬「八味地黄丸」には認知機能の悪化を遅らせる可能性が示唆されています。

今回のプロジェクトでは飛騨市と富山大学の包括連携協定に基づき、ふるさと納税を通じて研究資金を募ることで科学的根拠に基づいた新たな治療選択肢を世界に発信することに取り組みます。

本プロジェクトへの応援をよろしくお願いいたします！

担当者メッセージ

日本は超高齢社会を迎え、認知症などへの対策が重要となっています。八味地黄丸をはじめとする漢方薬には、その助けになる可能性があります。きちんとした科学的な証明(エビデンス)がまだ十分ではありません。そこで私たちは、GCFを通じて臨床研究を進め、「本当に効果があり、安全なのか」を明らかにしたいと考えています。この研究の成果を、多くの患者さんの元気につなげることが目標です。

本プロジェクトへの寄附はこちらから！

富山大学 医学部 貝沼 茂三郎教授

この寄付は「ふるさと納税対象」です。地域の課題解決に役立ててみませんか？

お申込みはインターネットが便利！ ふるさとチョイスガバメントクラウドファンディングへ

URL

https://www.furusato-tax.jp/gcf/5391

